

対象校No. 197

注4

学校コード F143110111295

注3

設置年度

令和

6年度

計画の区分： 学部等連係課程実施基本組織の設置

注1

事前相談

注2

熊本大学 情報融合学環

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人熊本大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	経営企画本部
職名・氏名	カカリインナカムラ シン 係員・中村 仁
電話番号	096-342-2032
(夜間)	096-342-2032
e-mail	sgo-kikaku@jimui.kumamoto-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

情報融合学環

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	51
7. その他全般的事項	53

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人熊本大学

(2) 大 学 名

熊本大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒860-8555

熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(カガリ ヒサ) 小川 久雄 (令和3年4月)		
学 環 長	(シロト ケイスケ) 城本 啓介 (令和6年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
情報融合学環 学士(教育学)	工学関係	4年	60人	2年次 人 3年次 人 4年次 人	60人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	60人 - () []	-	-	1.13倍	-	
志願者数	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	231 - () [3]	-	-	1.13倍	-	
受験者数	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	210 - () [2]	-	-	1.13倍	-	
合格者数	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	69 - () [0]	-	-	1.13倍	-	
B 入学者数	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	- () []	68 - () [0]	-	-	1.13倍	-	
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.13	-	-	1.13倍	-	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況 AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	68 [0] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	68 [0] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入**してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	68 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{68} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

＜情報融合学環＞

【認可時又は届出時】

【認可時又は届出時】

科目 区分			授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						責任 教員 名
					必 修	選 択	自 由	教 師	准 教 師	講 師	助 手	初 任		
教 育 学	基 礎 教 育	外国語科目 （配 給 制 度）	英語A-1	1前・後	1									兼1
			英語A-2	1前・後	1									兼20
			英語B-1	1前・後	1									兼17
			英語B-2	1前・後	1									兼18
			英語e	1前・後	1									兼1
			日本語A-1	1・2前	1									兼1
			日本語A-2	1・2前・後	1									兼1
			日本語B-1	1・2前	1									兼1
			日本語B-2	1・2後	1									兼1
			日本語C-1	1・2前	1									兼1
			日本語C-2	1・2後	1									兼1
			日本語D-1	1・2前	1									兼1
			日本語D-2	1・2後	1									兼1
			英語Ⅰ-1	1前	1									兼1
			英語Ⅰ-2	1後	1									兼1
			ドイツ語Ⅰ-1	1前	1									兼2
			ドイツ語Ⅰ-2	1後	1									兼2
			ドイツ語Ⅱ-1	2前	1									兼1
			ドイツ語Ⅱ-2	2後	1									兼1
			フランス語Ⅰ-1	1前	1									兼1
			フランス語Ⅰ-2	1後	1									兼1
			フランス語Ⅲ-1	2前	1									兼1
			フランス語Ⅲ-2	2後	1									兼1
			中国語Ⅰ-1	1前	1									兼1
			中国語Ⅰ-2	1後	1									兼1
			中国語Ⅱ-1	2前	1									兼1
			中国語Ⅱ-2	2後	1									兼1
			コリア語Ⅰ-1	1前	1									兼1
			コリア語Ⅰ-2	1後	1									兼1
			コリア語Ⅱ-1	2前	1									兼1
			コリア語Ⅱ-2	2後	1									兼1
			ロシア語Ⅰ-1	1前	1									兼1
			ロシア語Ⅰ-2	1後	1									兼1
			スペイン語Ⅰ-1	1前	1									兼1
			スペイン語Ⅰ-2	1後	1									兼1
			スペイン語Ⅱ-1	2前	1									兼1
			スペイン語Ⅱ-2	2後	1									兼1
			イタリア語Ⅰ-1	1前	1									兼1
			イタリア語Ⅰ-2	1後	1									兼1
			ラテン語Ⅰ-1	1前	1									兼1
			ラテン語Ⅰ-2	1後	1									兼1
			ヘブライ語Ⅰ-1	1前	1									兼1
			ヘブライ語Ⅰ-2	1後	1									兼1
			日本語Ⅰ-1	2前	1									兼1
			日本語Ⅰ-2	1・2前・後	1									兼2
			日本語Ⅱ-1	1・2前	1									兼1
日本語Ⅱ-2	1・2前・後	1									兼2			
日本語Ⅲ-1	1・2前	1									兼1			
日本語Ⅲ-2	1・2前・後	1									兼3			
日本語Ⅳ-1	1前	1									兼1			
日本語Ⅳ-2	1・2前・後	1									兼3			
小計（51科目）	—	5	46	0	0	0	0	0	0	0	0	兼52		
確 信 科 報 目 基	ICTリテラシー	1前	2			1								
	DSリテラシー	1後	2			1								
科 体 教 育 美	小計（2科目）	—	4	0	0	1	0	0	0	0	0	—		
	体育・スポーツ科学(a)	1・2D・②・③・④	1									兼7		
小計（1科目）	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	兼7		
教 育 学	リ ベ ラ ル ア ー ツ 科 目	数学の世界	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼3		
		物理学入門	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼7		
		教養の化学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼3		
		生物の世界	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼10		
		持続可能な都市と地域づくり	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1		
		豊かさを持続させるものづくり	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2		
		日々の生活に垣間見る情報と通信	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2			1					兼1		
		倫理学入門	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2		
		心と世界	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1		
		思考と論理	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1		
		現代心理行動学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1		
		こころの科学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1		
		芸術文化論	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2		
		文学の諸相	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2		
		モノが語る歴史	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1		
		地域の世界史	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1		

【令和6年度】

[illegible]

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						責任 範囲
			必 修	選 修	目 由	教 育 教 養	専 門 教 育	協 助 教 員	助 手	助 手	助 手	
教養教育	リベラルアーツ科目	日本社会の歴史	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼3
		法学の基礎	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼4
		現代経済問題の諸相	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1
		現代政治の諸相	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1
		最前線の社会文化研究	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼7
		現代社会の解説	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼3
		自然と人間の地理学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼3
	小計 (23科目)	—	0	23～46	0	1	0	0	0	0	0	兼63
	現代教養科目	数学と文化	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		物理学の世界	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		暮らしと化学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼3
		化学と環境	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		最先端の生命科学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼4
		地球環境科学の最前線	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼5
		地域づくりと科学技術	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼4
		ものづくりの科学と技術	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼6
		暮らしと情報・通信技術	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2		2						兼1
		健康の科学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		病気の医科学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		臨床医学の最前線	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		現代社会と医学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1
		心身の健康と看護	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼3
		医療における理工学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1
		現代の医学検査	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1
		現代医療と生命科学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		薬科学入門	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		現代社会と薬学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		現代教育について考える	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼9
		心理学の探求	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		芸術への招待	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		現代と言語	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		現代と文学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼4
		現代世界の形成と課題	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		最先端の法学	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1
		現代社会と経済	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2		1						兼3
		現代の政治	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2		1						兼2
		学際科目	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼4
	小計 (29科目)	—	0	29～58	0	4	0	0	0	0	0	兼77
教養教育	M u l t i d i s c i p l i n a r y	Introduction to Science and Technology I	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼4
		Introduction to Science and Technology II	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1
		Socio-Cultural Studies	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼7
		World History	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1
		Area Studies	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼6
		Comprehensive English Communication	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼1
		Global Career Development	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼2
		小計 (7科目)	—	0	7～14	0	0	0	0	0	0	兼10
	アキヤ目	キャリア科目	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼7
		小計 (1科目)	—	0	1～2	0	0	0	0	0	0	兼7
	開目放科	開放科目	1・2前・後・①・②・③・④	1又は2								兼6
		小計 (1科目)	—	0	1～2	0	0	0	0	0	0	兼6
	目放科	暮らしの中の憲法	2前・後	2								兼2
		小計 (1科目)	—	0	2	0	0	0	0	0	0	兼2
	目放科	体育・スポーツ科学(b)	1・2①・②・③・④	1								兼7
		小計 (1科目)	—	0	1	0	0	0	0	0	0	兼7
	理系基礎科目	微分積分Ⅰ	1前	2		1						兼9
		微分積分Ⅱ	1後	2		1						兼8
		線形代数Ⅰ	1前	2		1	1					兼7
		線形代数Ⅱ	1後	2		1						兼7
		小計 (4科目)	—	8	0	0	2	1	0	0	0	兼17
	小計 (121科目)	—	17	111～172	0	8	1	0	0	0	0	兼223

科目 区分			授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					責任 範囲		
					必 修	選 修	目 由	教 育 教 養	専 門 教 育	講 師	助 教	助 手			
教養教育	リベラル アーツ 科目		日本社会の歴史	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2								兼3		
			法学の基礎	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2								兼3		
			現代経済問題の諸相（未開講）	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2								兼1		
			現代政治の諸相	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2								兼1		
			最前線の社会文化研究	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2								兼9		
			現代社会の解説	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2								兼4		
			自然と人間の地理学	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2								兼2		
			小計（26科目）	—	0	26～ 52	0	1	0	0	0	0	0	兼75	
		現代教養 科目		数学と文化	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼1
				物理学の世界	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼1
			暮らしと化学	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼4	
			化学と環境	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼3	
			最先端の生命科学	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼5	
			地球環境科学の最前線	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼5	
			地域づくりと科学技術	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼4	
			ものづくりの科学と技術	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼6	
			暮らしと情報・通信技術	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2			3						兼1	
			健康の科学	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼2	
			病気の医科学	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼2	
			臨床医学の最前線	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼2	
			現代社会と医学	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼1	
			心身の健康と看護	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼3	
			医療における理工学	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼1	
			現代の医学検査	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼1	
			現代医療と生命科学	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼2	
			薬科学入門	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼2	
			現代社会と薬学	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼3	
			現代教育について考える	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼8	
			心理学の探求	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼2	
			芸術への招待	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼2	
			現代と言語	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼2	
			現代と文学	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼4	
			現代世界の形成と課題	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼4	
			最先端の法学（未開講）	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼1	
			現代社会と経済	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼3	
			現代の政治	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼5	
			学際科目	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼6	
				小計（29科目）	—	0	29～ 58	0	3	0	0	0	0	0	兼82
	M u l t i d i s c i p l i n a r y		Introduction to Science and Technology I	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼4	
			Introduction to Science and Technology II	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼1	
			Socio-Cultural Studies	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼5	
			World History	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼1	
			Academic Foundations	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼3	
			Area Studies	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼5	
			Comprehensive English Communication	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼1	
			Global Career Development	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼2	
		小計（8科目）	—	0	8～ 16	0	0	0	0	0	0	0	兼8		
		アキヤ 目 り	キャリア科目	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼9	
		小計（1科目）	—	0	1～2	0	0	0	0	0	0	0	兼9		
開 目 放 科		開放科目	1・2前・後・ ①・②・③・④	1又は2									兼6		
		小計（1科目）	—	0	1～2	0	0	0	0	0	0	0	兼6		
出田 日 科 基 本		暮らしの中の憲法	2前・後	2									兼3		
		小計（1科目）	—	0	2	0	0	0	0	0	0	0	兼3		
		体育・スポーツ科学(b)	1・2①・②・ ③・④	1									兼9		
		小計（1科目）	—	0	1	0	0	0	0	0	0	0	兼9		
		微分積分Ⅰ	1前	2		1							兼6		
		微分積分Ⅱ	1後	2		1							兼6		
理 系 基 礎 科 目		線形代数Ⅰ	1前	2		1	1					兼6			
		線形代数Ⅱ	1後	2		1						兼7			
		小計（4科目）	—	8	0	0	2	1	0	0	0	0	兼13		
		小計（126科目）	—	17	115 180	0	8	2	0	1	0	0	兼267		

科目 区分				授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼 用	
						必修	選択	目録外	教 授	准 教 授	講 義	助 教	助 手		
専門教育	基盤科目	必修	実用英語Ⅰ	2前	1				1						
			実用英語Ⅱ	2後	1				1						
			実用英語Ⅲ	3前	1				1						
			実用英語Ⅳ	3後	1				1						
			DS基礎数学演習Ⅰ	1前	1		1	1							
			DS基礎数学演習Ⅱ	1後	1		1	1							
			確率・統計	1後	2			2							
			集合と論理	1前	2			1							
			離散数学Ⅰ	2前	2			1							
			統計学Ⅰ	2前	2			1		1					
			統計学Ⅱ	2後	2				1						
			統計学演習Ⅰ	2前	1			2							
			統計学演習Ⅱ	2後	1			2							
			データ分析Ⅰ	2前	2			2							
			データ分析Ⅱ	2後	2			2							
			DS倫理	1前	2		1								
			DS入門	1後	2			1							
			人工知能理論	3③	2			1							
			人工知能応用	3①	2			1							
			人工知能演習	3②	1				1						
		ビジュアルライゼーション プレゼンテーション実習	3①	2			1								
		DSゼミナールⅠ	1後	1		1	1			1					
		DSゼミナールⅠ	2前	1		9	11			3					
		DSゼミナールⅡ	2後	1		9	11			3					
		選択必修	最適化理論	3後	2										
			アルゴリズム論Ⅰ	2①	2		1								
			プログラミング演習Ⅰ	2前	1						1				
			アルゴリズム論Ⅱ	2③	2		1								
			プログラミング演習Ⅱ	2後	1						1				
			データベースⅠ	3②	2		1								
			情報セキュリティ	3④	2		1	1							
			コンピュータネットワーク	3②	2		1	1							
			コンピュータシステム論	2①	2			1							
			情報理論	2①	2		1								
		選択	物理化学基礎	1後	2			2							
			知的財産権	4前	2									兼1	
			ビジネス倫理学	3後	2		1								
			グローバル企業家論	2後	2		1								
			経営戦略論	4前	2		1								
			インターンシップ	3通	2		1								
	アントレプレナーシップ入門		3前	1			1								
	アントレプレナーシップ		3後	2		1									
	実践アントレプレナーシップチャレンジ		4通	1		1									
	小計 (43科目)		—	36	34	0	13	13	0	3	0		兼1		
	DS総合科目	必修	DSゼミナールⅢ	3前	1			7	7			3			
			DSゼミナールⅣ	3後	1			7	7			3			
		選択必修	離散数学Ⅱ	2後	2			1							
			HCI設計論	3①	2		1								
			データベースⅡ	3③	2		1								
			メディア情報処理	3③	2		1								
			ウェブプログラミング基礎	2④	2		1								
			評価・調査法	2②	2		1								
			デジタルマーケティング	3後	2		1								
			学習論ベーシック	2③	2			1							
			教育論ベーシック	2④	2			1							
			教示と行動変容	3①	2			1							
		インストラクショナル・デザイン基礎	3②	2			1								
		選択	デジタル信号処理Ⅰ	2④	2		1								
			デジタル信号処理Ⅱ	3①	2			1							
			コンピュータアーキテクチャ	3②	2		1								
			生体情報システム	3③	2		1								
			法社会学Ⅰ	3前	2			1							
			行政学Ⅰ	3前	2		1								
			行政学Ⅱ	3後	2		1								
	経済政策		3前	2		1									
	国際経済論		3前	2		1									
	経済学入門		2後	2		1									
DS半導体科目	選択	医療画像認識	4前	2			1								
		アグリマーケティング論	2前	2		1									
		アグリビジネス論	2後	2		1									
		計量経済学	3後	2			1								
		小計 (27科目)	—	2	50	0	13	11	0	3	0				
		研究実習	卒業研究	電磁気学概論	2後	2				1					
				半導体工学	3前	2				1					
				半導体製造技術	3後	2			1						
				電気回路Ⅰ	2後	2				1					
				論理回路	2後	2			1						
デジタル電子回路	3前			2			1								
半導体実験Ⅰ	3前			1			3	4							
半導体実験Ⅱ	3後			1			3	4							
半導体基礎	2前			2			1								
EDA概論	3後			2				1							
先端半導体工学	3後			2				1							
電気回路Ⅱ	3前			2				1							
電気回路演習Ⅰ	2後			1						1					
制御工学Ⅰ	2前			2			1								
制御工学Ⅱ	3前			2				1							
論理回路演習	2後			1						1					
電気計測	2後	2			1										
アナログ電子回路	2後	2			1										
電気電子材料	3後	2			1										
集積システム設計論	3後	2			1										
安全工学	3前	2													
小計 (21科目)	—	14	24	0	9	6	0	2	0						
研究実習	卒業研究	卒業研究	4通	8				9	11		3				
		小計 (1科目)	—	8	0	0	9	11	0	3	0				
		小計 (92科目)	—	60	108	0	23	19	0	4	0		兼1		

科目 区分			授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				履修 ・単位 取得		
					必修	選択	目録外	教 授	准 教 授	講 義	助 教		助 手	
専門教育	基礎科目	必修	実用英語Ⅰ	2前	1			1						
			実用英語Ⅱ	2後	1			1						
			実用英語Ⅲ	3前	1			1						
			実用英語Ⅳ	3後	1			1						
			DS基礎数学演習Ⅰ	1前	1				1	1				
			DS基礎数学演習Ⅱ	1後	1				1	1				
			確率・統計	1後	2				2					
			集合と論理	1前	2			1						
			離散数学Ⅰ	2前	2			1						
			統計学Ⅰ	2前	2				1					
			統計学Ⅱ	2後	2				1					
			統計学演習Ⅰ	2前	1			2						
			統計学演習Ⅱ	2後	1			2						
			データ分析Ⅰ	2前	2			2						
			データ分析Ⅱ	2後	2			2						
			DS倫理	1前	2			1						
			DS入門	1後	2			1	1	1				
			人工知能理論	3③	2			1						
			人工知能応用	3①	2			1						
			人工知能演習	3②	1				1					
		ビジュアルライゼーション プレゼンテーション実習	3①	2			1			1				
		DSゼミナールⅠ	1後	1			1		1		3			
		DSゼミナールⅡ	2後	1			10	9	1		3			
		DSゼミナールⅡ	2後	1			10	9	1		3			
		選択必修	最適化理論	3後	2	2								
			アルゴリズム論Ⅰ	2①	2	1								
			プログラミング演習Ⅰ	2前	1						1			
			アルゴリズム論Ⅱ	2③	2	1								
			プログラミング演習Ⅱ	2後	1						1			
			データベースⅠ	3②	2	1								
			情報セキュリティ	3④	2	1	1							
			コンピュータネットワーク	3②	2	1	1							
			コンピュータシステム論	2①	2	1								
			情報理論	2①	2	2	1							
			選択	物理化学基礎	1後	2			1	1				
				知的財産権	4前	2								兼1
				ビジネス倫理学	3後	2	2	1						
		グローバル企業家論		2後	2	2	1							
		経営戦略論		4前	2	2	1							
		インターンシップ		3通	2	2	1							
		アントレプレナーシップ入門		3前	1			1						
		アントレプレナーシップ		3後	2	1								
		実践アントレプレナーシップチャレンジ		4通	1			1						
	小計（43科目）	—		36	34	0	12	11	1	3	0	兼1		
	専門科目	必修	DSゼミナールⅢ	3前	1			6	5	1	3			
			DSゼミナールⅣ	3後	1			6	5	1	3			
		選択必修	離散数学Ⅱ	2後	2	2								
			HCI設計論	3①	2	1								
			データベースⅡ	3③	2	1								
			メディア情報処理	3③	2	1								
			ウェブプログラミング基礎	2④	2	1								
			評価・調査法	2②	2	1								
			デジタルマーケティング	3後	2	1								
			学習論ベーシック	2③	2			1						
教育論ベーシック			2④	2			1							
教示と行動変容			3①	2			1							
インストラクショナル・デザイン基礎			3②	2			1							
選択			ディジタル信号処理Ⅰ	2④	2	2	1							
			ディジタル信号処理Ⅱ	3①	2			1						
		コンピュータアーキテクチャ	3②	2	1									
		生体情報システム	3③	2	1									
		法社会学Ⅰ	3前	2			1							
		行政学Ⅰ	3前	2	1									
		行政学Ⅱ	3後	2	1									
		経済政策	3前	2	1									
		国際経済論	3前	2	1									
		経済学入門	2後	2	1									
		医療画像認識	4前	2			1							
		アグリマーケティング論	2前	2	1									
		アグリビジネス論	2後	2	1									
		計量経済学	3後	2	2									
小計（27科目）	—	2	50	0	12	9	1	3	0					
DS半導体科目	必修	電磁気学概論	2後	2	2			1						
		半導体工学	3前	2			1							
		半導体製造技術	3後	2			1							
		電気回路Ⅰ	2後	2				1						
		論理回路	2後	2			1							
		ディジタル電子回路	3前	2			1							
		半導体実験Ⅰ	3前	1			3	4						
		半導体実験Ⅱ	3後	1			3	4						
		選択	半導体基礎	2前	2	2	1							
			EDA概論	3後	2			1						
	先端半導体工学		3後	2			1							
	電気回路Ⅱ		3前	2			1							
	電気回路演習Ⅰ		2後	1					1					
	制御工学Ⅰ		2前	2			1							
	制御工学Ⅱ		3前	2			1							
	論理回路演習		2後	1					1					
	電気計測	2後	2	1										
	アナログ電子回路	2後	2	1										
電気電子材料	3後	2	1											
集積システム設計論	3後	2	1											
安全工学	3前	2			1									
小計（21科目）	—	14	24	0	9	6	0	2	0					
卒業研究	卒業研究	4通	8	0	0	8	9	1	3	0				
	小計（1科目）	—	8	0	0	8	9	1	3	0				
小計（92科目）		—	60	108	0	24	17	1	4	0	兼1			

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任 教員 数
			必 修	選 目	自 由	教 授	准 教 授	助 教	助 手		
			修 得	抑 止	由 選	部 長	定 数	部 長	教 員	手 数	
合計（213科目）		—	77	219 ～ 280	0	24	19	0	4	0	兼224
卒業要件及び履修方法											
【DS総合コース】 ① 教養教育科目30単位以上、基盤科目及びDS総合科目の必修科目合計46単位を修得すること。 ② 基盤科目及びDS総合科目の選択科目48単位以上(内、選択必修科目18単位以上)、①との合計で124単位以上を修得すること。 【DS半導体コース】 ① 教養教育科目30単位以上、基盤科目及びDS半導体科目の必修科目合計58単位を修得すること。 ② 基盤科目、DS総合科目及びDS半導体科目の選択科目36単位以上(内、DS半導体科目の選択必修科目8単位以上)、①との合計で124単位以上を修得すること。											

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					兼任 教員 数
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
			77	223 288	0	25	17	1	4	0	兼274	
卒業要件及び履修方法												
【DS総合コース】 ① 教養教育科目30単位以上、基盤科目及びDS総合科目の必修科目合計46単位を修得すること。 ② 基盤科目及びDS総合科目の選択科目48単位以上(内、選択必修科目18単位以上)、①との合計で124単位以上を修得すること。 【DS半導体コース】 ① 教養教育科目30単位以上、基盤科目及びDS半導体科目の必修科目合計58単位を修得すること。 ② 基盤科目、DS総合科目及びDS半導体科目の選択科目36単位以上(内、DS半導体科目の選択必修科目8単位以上)、①との合計で124単位以上を修得すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
- その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
- 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例: 記載順) [認可時又は届出時] → [令和6年度] (新) → [令和5年度] (新) → [令和4年度] (新) → [令和3年度] (旧) → [令和6年度] (旧) → [令和5年度] (旧)

(1) ①②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・ 教育上の効果を高めるため、「英語A-1」の専任教員等の配置を「兼14」から「兼17」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「英語A-2」の専任教員等の配置を「兼20」から「兼22」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「英語B-1」の専任教員等の配置を「兼17」から「兼18」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「英語B-2」の専任教員等の配置を「兼18」から「兼16」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「英語e」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼13」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「日本語B-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「ドイツ語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「フランス語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「フランス語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「フランス語Ⅰ-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「中国語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「中国語Ⅰ-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「ロシア語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「ロシア語Ⅰ-2」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「日本語Ⅰ-2」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼4」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「日本語Ⅲ-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「日本語Ⅲ-2」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「日本語Ⅳ-1」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「日本語Ⅳ-2」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「ITリテラシー」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「准教授2」「助教1」「兼4」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「DSリテラシー」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「准教授2」「助教1」「兼4」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「体育」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼11」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「数学の世界」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「物理学入門」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼7」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「生物の世界」の専任教員等の配置を「兼10」から「兼11」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「現代心理行動学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「文学の諸相」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「モノが語る歴史」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「地域の世界史」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「法学基礎」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼3」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「最前線の社会文化研究」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼9」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「現代社会の解説」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「自然と文化」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「数学と文化」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼11」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「物理学の世界」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「暮らしと化学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「化学と環境」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「暮らしと情報・通信技術」の専任教員等の配置を「教授2」「兼1」から「教授3」「兼1」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「最先端の生命科学」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「現代社会と薬学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「現代教育について考える」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼8」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「現代世界の形成と課題」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼4」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「現代社会と経済」の専任教員等の配置を「教授1」「兼3」から「兼3」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「現代の政治」の専任教員等の配置を「教授1」「兼2」から「兼5」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「学際科目」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼6」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「[Socio-Cultural Studies]」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼5」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「[Area Studies]」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼5」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「キャリア科目」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼9」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「暮らしの中の憲法」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「体育・スポーツ科学(b)」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼9」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「微分積分Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「兼9」から「教授1」「兼6」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「微分積分Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「兼8」から「教授1」「兼6」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「線形代数Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「兼7」から「教授1」「准教授1」「兼6」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「線形代数Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「兼7」から「教授1」「准教授1」「兼7」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「文系のための数学入門」を新設
- ・ 教育上の効果を高めるため、「地球環境の現状と人類」を新設
- ・ 教育上の効果を高めるため、「言語の諸相」を新設
- ・ 教育上の効果を高めるため、「Academic Foundations」を新設
- ・ カリキュラム編成の調整により、「DS基礎数学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「准教授1」「講師1」に変更
- ・ カリキュラム編成の調整により、「DS基礎数学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「准教授1」「講師1」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「DS入門」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」「准教授1」「講師1」に変更
- ・ 教育上の効果を高めるため、「プレゼンテーション実習」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」から「教授1」「講師1」に変更

- (注) 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容は、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
46 科目	167 科目	0 科目	213 科目	46 科目 [0]	171 科目 [4]	0 科目 [0]	217 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	日本語C-1	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置無
2	日本語C-2	1	1・2後	一般	選択	休講、代替措置無
3	英語Ⅰ-1	1	1前	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「英語Ⅰ-2、Ⅱ-1、Ⅱ-2」）
4	フランス語Ⅲ-1	1	2前	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「フランス語Ⅰ-1、Ⅰ-2」）
5	フランス語Ⅲ-2	1	2後	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「フランス語Ⅰ-1、Ⅰ-2」）
6	中国語Ⅱ-1	1	2前	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「中国語Ⅰ-1、Ⅰ-2」）
7	中国語Ⅱ-2	1	2後	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「中国語Ⅰ-1、Ⅰ-2」）
8	日本語Ⅰ-1	1	2前	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「日本語Ⅰ-2、Ⅱ-2、Ⅲ-1、Ⅲ-2、Ⅳ-1、Ⅳ-2」）
9	日本語Ⅱ-1	1	1・2前	一般	選択	休講、代替措置有（代替科目「日本語Ⅰ-2、Ⅱ-2、Ⅲ-1、Ⅲ-2、Ⅳ-1、Ⅳ-2」）
10	現代経済問題の諸相	1又は2	1・2前・後・①・②・③・④	一般	選択	休講、代替措置無
11	最先端の法学	1又は2	1・2前・後・①・②・③・④	一般	選択	休講、代替措置無

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記の未開講科目は全て教養教育の科目である。情報融合学環の学生の教養教育の卒業要件単位は30単位である。年間開講の科目においては、学内リソースを効率的、効果的に活用できるようにしつつ、学生がより最先端のトピックを学修できるように、また、学生にとってわかりやすいように、提供科目を厳選して開講しており、結果として、未開講科目が11科目となっている。

設置の趣旨等を記載した書類の中で、「教養教育の実施方針及び教育課程編成上の工夫」として説明したとおり、「幅広く深い教養、国際的対話力、情報化への対応能力及び主体的な課題探究能力を備えた人材の育成を目的とする本学の学士課程全体の方針に基づき、本学が定める7つの学修成果（豊かな教養、確かな専門性、創造的な知性、社会的な実践力、グローバルな視野、情報通信技術の活用力、汎用的な知力）達成すべく編成・実施された教育課程の一環として、大学教育統括管理運営機構が定める方針に従い実施」しており、7つの学修成果に沿った科目毎に、授業科目（授業テーマ別等）を、1科目以上開講し、卒業要件単位30単位に対して、単位数400単位以上にも及ぶ科目数を開講しており、本課程が掲げる人材養成や体系的な教育課程の編成には影響はないと考えている。

なお、学生への周知方法としては、開講する科目の時間割表を配付し、さらに掲示版に最新の時間割表を貼付すること等により、十分周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{11}{213} = \boxed{5.16} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習セン ターとの共用623㎡ 地上権設定者：財団法人 熊本テクノポリス財 団 地上権設定期間： H29. 9. 1から3年間 19, 945㎡ 貸与者：熊本市 借用期間：H29. 4. 1か らH30. 3. 31（以降、毎 年度更新）494㎡ 貸与者：益城町 借用期間：H30. 10. 1か らR2. 9. 30（以降、毎 年度更新）331㎡			
	校 舎 敷 地	475, 024 (20, 770) ㎡	623㎡	0㎡	475, 647 (20, 770) ㎡				
	運動場用地	39, 752 (0) ㎡	0㎡	0㎡	39, 752 (0) ㎡				
	小 計	514, 776 (20, 770) ㎡	623㎡	0㎡	515, 399 (20, 770) ㎡				
	そ の 他	144, 293 (0) ㎡	0㎡	0㎡	144, 293 (0) ㎡				
	合 計	659, 069 (20, 770) ㎡	623㎡	0㎡	659, 692 (20, 770) ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	放送大学熊本学習セン ターの専用1, 112㎡			
		457, 740㎡ (457, 740㎡)	0㎡ (0㎡)	1, 112㎡ (1, 112㎡)	458, 852㎡ (458, 852㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		122室	90室	1, 206室	9室 (補助職員 6人)	13室 (補助職員 3人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		情報融合学環			47 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特 定不可能なため、 大学全体の数	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	情報融合学環	1, 255, 975 [482, 340] (1, 255, 975 [482, 340])	21, 266 [7, 207] (21, 266 [7, 207])	17, 031 [15, 706] (17, 031 [15, 706])	2, 184 (2, 184)	67, 684 (67, 684)	35 (35)		
計	1, 255, 975 [482, 340] (1, 255, 975 [482, 340])	21, 266 [7, 207] (21, 266 [7, 207])	17, 031 [15, 706] (17, 031 [15, 706])	2, 184 (2, 184)	67, 684 (67, 684)	35 (35)			
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		12, 347㎡		936		1, 035, 084			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		8, 245 ㎡		陸上競技場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート 等					
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	熊 本 大 学						収容定員充足率0.7以下 の学科数	0	収容定員充足率1.15以上 の学科数		
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
文学部	4	170	10	700		1.10	1.04	－		熊本県熊本市中央区黒髪 2丁目40番1号	
総合人間学科	4	55	－	220	学士 (文学)	1.12	1.07	－	平成17	同上	
歴史学科	4	35	－	140	学士 (文学)	1.10	1.05	－	平成17	同上	
文学科	4	50	－	200	学士 (文学)	1.03	0.99	－	平成17	同上	
コミュニケーション情報学科	4	30	－	120	学士 (文学)	1.34	1.22	－	平成17	同上	
学部共通	4		3年次 10	20	学士 (文学)	－	－	－	平成11	同上	
教育学部	4	220	－	660		1.05	－	－		熊本県熊本市中央区黒髪 2丁目40番1号	
学校教育教員養成課程	4	220	－	660	学士 (教育学)	1.05	－	－	令和4	同上	
小学校教員養成課程	4	－	－	110	学士 (教育学)	－	－	－	昭和24	同上	令和4年度より学生募集停止
中学校教員養成課程	4	－	－	70	学士 (教育学)	－	－	－	昭和24	同上	令和4年度より学生募集停止
特別支援教育教員	4	－	－	20	学士 (教育学)	－	－	－	平成19	同上	令和4年度より学生募集停止
養護教諭養成課程	4	－	－	30	学士 (教育学)	－	－	－	昭和52	同上	令和4年度より学生募集停止
法学部	4	200	10	850		1.05	1.00	－		熊本県熊本市中央区黒髪 2丁目40番1号	
法学科	4	200	－	830	学士 (法学)	1.05	1.00	－	平成16	同上	入学定員減
学部共通			3年次 10	20	学士 (法学)	－	－	－	平成12	同上	
理学部	4	190	－	790		1.09	1.02	－		熊本県熊本市中央区黒髪 2丁目39番1号	
理学科	4	190	－	790	学士 (理学)	1.09	1.02	－	平成16	同上	入学定員減
医学部											
医学科	6	110	－	665	学士 (医学)	1.07	1.01	令和5	昭和24	熊本県熊本市中央区本荘 1丁目1番1号	収容定員変更
保健学科	4	144	－	576	学士 (看護学、保健学)	1.06	1.03	－	平成15	熊本県熊本市中央区九品 寺4丁目24番1号	
保健学科共通			3年次 16	32	学士 (看護学、保健学)	－	－	－	平成18	同上	
薬学部											
薬学科	6	55	－	330	学士 (薬学)	1.06	1.03	－	平成18	熊本県熊本市中央区大江 本町5番1号	
創薬・生命薬科学科	4	35	－	140	学士 (創薬科学、生命薬科学)	1.10	1.07	－	平成18	同上	
工学部	4	473	65	2142		1.08	1.02	－		熊本県熊本市中央区黒髪 2丁目39番1号	
土木建築学科	4	118	3年次 10	510	学士 (工学)	1.09	1.04	－	平成30	同上	入学定員減
機械数理工学科	4	101	3年次 10	450	学士 (工学)	1.10	1.02	－	平成30	同上	入学定員減
情報電気工学科	4	112	3年次 20	614	学士 (工学)	1.07	1.00	－	平成30	同上	入学定員減
材料・応用化学科	4	122	3年次 5	528	学士 (工学)	1.06	1.01	－	平成30	同上	入学定員減
半導体デバイス工学課程	4	20	3年次 20	40	学士 (工学)	1.10	－	－	令和6	同上	
物質生命化学科	4	－	－	－	学士 (工学)	－	－	－	平成18	同上	平成30年度より学生募集停止
マテリアル工学科	4	－	－	－	学士 (工学)	－	－	－	平成18	同上	平成30年度より学生募集停止
機械システム工学科	4	－	－	－	学士 (工学)	－	－	－	平成18	同上	平成30年度より学生募集停止
情報電気電子工学科	4	－	－	－	学士 (工学)	－	－	－	平成18	同上	平成30年度より学生募集停止
学部共通			3年次-	－	学士 (工学)	－	－	－	平成10	同上	平成30年度より学生募集停止
情報融合学環	4	60	－	60	学士 (情報学)	1.13	－		令和6	熊本県熊本市中央区黒髪 2丁目39番1号	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 - ・履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 - ・開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 - 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 - ・なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<情報融合学環>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学環 長)	城本啓介 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 離散数学Ⅱ インターンシップ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	喜多敏博 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		DS倫理 人工知能応用 ウェブプログラミング基礎 データベースⅡ デジタルマーケティング DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	戸田真志 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		ICTリテラシー DSリテラシー HCI設計論 ビジュアルイゼーション メディア情報処理 プレゼンテーション実習 評価・調査法 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	武蔵泰雄 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		アルゴリズム論Ⅰ アルゴリズム論Ⅱ 情報セキュリティ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	尼崎太樹 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		デジタル電子回路 人工知能理論 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究 暮らしと情報・通信技術
専	教授	有次正義 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		データベースⅠ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学環 長)	城本啓介 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ プレゼンテーション実習 離散数学Ⅱ インターンシップ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	喜多敏博 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		DS倫理 DS入門 人工知能応用 ウェブプログラミング基礎 データベースⅡ デジタルマーケティング DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	戸田真志 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		ICTリテラシー DSリテラシー HCI設計論 ビジュアルイゼーション メディア情報処理 評価・調査法 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	武蔵泰雄 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		アルゴリズム論Ⅰ アルゴリズム論Ⅱ 情報セキュリティ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究 ICTリテラシー DSリテラシー
専	教授	尼崎太樹 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		デジタル電子回路 人工知能理論 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	教授	有次正義 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		データベースⅠ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	千葉周也 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		DS基礎数学演習I DS基礎数学演習II 集合と論理 離散数学 I 最適化理論 DSゼミナール I DSゼミナール II DSゼミナール III DSゼミナール IV 卒業研究
専	教授	青柳昌宏 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		半導体基礎 半導体製造技術 DSゼミナール I DSゼミナール II 半導体実験 I 半導体実験 II 卒業研究
専	教授	飯田全広 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		論理回路 コンピュータアーキテクチャ コンピュータネットワーク DSゼミナール I DSゼミナール II 半導体実験 I 半導体実験 II 卒業研究
専	教授	魚住弘久 ＜令和6年4月＞ 博士(法学)
		行政学 I 行政学 II 現代の政治
専	教授	吉岡英美 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		経済政策 国際経済論 経済学入門 現代社会と経済
専	教授	木之内均 ＜令和6年4月＞ 農学士
		アグリマーケティング論 アグリビジネス論
専	教授	岩本勝幸 ＜令和6年4月＞ 修士(知識科学)
		グローバル企業家論
専	教授	小松敏弘 ＜令和6年4月＞ 博士(法学)
		ビジネス倫理学
専	教授	萩野誠 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		経営戦略論
専	教授	野口祐二 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		電気電子材料

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	千葉周也 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		集合と論理 離散数学 I 最適化理論 DSゼミナール I DSゼミナール II DSゼミナール III DSゼミナール IV 卒業研究
専	教授	青柳昌宏 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		半導体基礎 半導体製造技術 DSゼミナール I DSゼミナール II 半導体実験 I 半導体実験 II 卒業研究
専	教授	飯田全広 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		論理回路 コンピュータアーキテクチャ コンピュータネットワーク DSゼミナール I DSゼミナール II 半導体実験 I 半導体実験 II 卒業研究
専	教授	魚住弘久 ＜令和6年4月＞ 博士(法学)
		行政学 I 行政学 II
専	教授	吉岡英美 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		経済政策 国際経済論 経済学入門
専	教授	木之内均 ＜令和6年4月＞ 農学士
		アグリマーケティング論 アグリビジネス論
専	教授	岩本勝幸 ＜令和6年4月＞ 修士(知識科学)
		グローバル企業家論
専	教授	小松敏弘 ＜令和6年4月＞ 博士(法学)
		ビジネス倫理学
専	教授	萩野誠 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		経営戦略論
専	教授	野口祐二 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		電気電子材料 開放科目

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木裕巳 ＜令和6年4月＞ 工学修士
		半導体実験Ⅰ 半導体実験Ⅱ
専	教授	山口佳樹 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		集積システム設計論
専	教授	北直泰 ＜令和6年4月＞ 博士(数理学)
		微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ
専	教授	常田明夫 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		情報理論 アナログ電子回路
専	教授	松永信智 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		制御工学Ⅰ 暮らしと情報・通信技術
専	教授	光本文秋 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		電気計測
専	教授	上瀧剛 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		デジタル信号処理Ⅰ
専	教授	伊賀崎伴彦 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		生体情報システム 日々の生活に垣間見る情報と通信
専	准教授	久保田真一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		プレゼンテーション実習 人工知能演習 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	准教授	合田(山田)美子 ＜令和6年4月＞ 外国の博士号(Science Education)
		実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	准教授	マジュンダール リトジツ ＜令和6年4月＞ 博士(Educational Technology)
		学習論ベーシック 教育論ベーシック 教示と行動変容 インストラクショナル・デザイン基礎 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木裕巳 ＜令和6年4月＞ 工学修士
		半導体実験Ⅰ 半導体実験Ⅱ
専	教授	山口佳樹 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		集積システム設計論
専	教授	北直泰 ＜令和6年4月＞ 博士(数理学)
		微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ
専	教授	常田明夫 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		情報理論 アナログ電子回路 暮らしと情報・通信技術
専	教授	松永信智 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		制御工学Ⅰ 暮らしと情報・通信技術
専	教授	光本文秋 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		電気計測 暮らしと情報・通信技術
専	教授	上瀧剛 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		デジタル信号処理Ⅰ
専	教授	伊賀崎伴彦 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		生体情報システム 日々の生活に垣間見る情報と通信
専	准教授	久保田真一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		人工知能演習 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究 IOTリテラシー DSリテラシー
専	教授	合田(山田)美子 ＜令和6年4月＞ 外国の博士号(Science Education)
		実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	准教授	マジュンダール リトジツ ＜令和6年4月＞ 博士(Educational Technology)
		学習論ベーシック 教育論ベーシック 教示と行動変容 インストラクショナル・デザイン基礎 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐竹翔平 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		確率・統計 統計学演習Ⅰ 統計学演習Ⅱ データ分析Ⅰ データ分析Ⅱ アントレプレナーシップ入門 アントレプレナーシップ 実践アントレプレナーシップチャレンジ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	准教授	野原康伸 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		情報セキュリティ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	准教授	岩佐学 ＜令和6年4月＞ 博士(数理学)
		確率・統計 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 統計学演習Ⅰ 統計学演習Ⅱ データ分析Ⅰ データ分析Ⅱ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究 線形代数Ⅰ
専	准教授	大川猛 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		物理化学基礎 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ 半導体実験Ⅰ 半導体実験Ⅱ 卒業研究
専	准教授	瀬戸謙修 ＜令和6年4月＞ 博士(情報学)
		半導体工学 EDA概論 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ 半導体実験Ⅰ 半導体実験Ⅱ 卒業研究
専	准教授	長名保範 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		コンピュータネットワーク DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ 半導体実験Ⅰ 半導体実験Ⅱ 卒業研究
専	准教授	久保木猛 ＜令和6年4月＞ 博士(情報学)
		電磁気学概論 先端半導体工学 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ 半導体実験Ⅰ 半導体実験Ⅱ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐竹翔平 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		DS基礎数学演習Ⅰ DS基礎数学演習Ⅱ 確率・統計 統計学演習Ⅰ 統計学演習Ⅱ データ分析Ⅰ データ分析Ⅱ アントレプレナーシップ入門 アントレプレナーシップ 実践アントレプレナーシップチャレンジ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
専	准教授	野原康伸 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		情報セキュリティ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	准教授	岩佐学 ＜令和6年4月＞ 博士(数理学)
		確率・統計 統計学Ⅰ 統計学Ⅱ 統計学演習Ⅰ 統計学演習Ⅱ データ分析Ⅰ データ分析Ⅱ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	准教授	大川猛 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		物理化学基礎 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ 半導体実験Ⅰ 半導体実験Ⅱ 卒業研究
専	准教授	瀬戸謙修 ＜令和6年4月＞ 博士(情報学)
		半導体工学 EDA概論 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ 半導体実験Ⅰ 半導体実験Ⅱ 卒業研究
専	准教授	長名保範 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		コンピュータネットワーク DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ 半導体実験Ⅰ 半導体実験Ⅱ 卒業研究
専	准教授	久保木猛 ＜令和6年4月＞ 博士(情報学)
		電磁気学概論 先端半導体工学 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ 半導体実験Ⅰ 半導体実験Ⅱ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	森大輔 ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		法社会学I
専	准教授	中浦 猛 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		医療画像認識
専	准教授	松田節郎 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		DS入門
専	准教授	本田圭市郎 ＜令和6年4月＞ 博士(応用経済学)
		計量経済学
専	准教授	岡島 寛 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ 制御工学Ⅱ
専	准教授	緒方 公一 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		デジタル信号処理Ⅱ
専	准教授	久我守弘 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		コンピュータシステム論
専	准教授	田中 茂 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		安全工学
専	准教授	三浦 冲 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		DS基盤数学演習Ⅰ DS基盤数学演習Ⅱ 物理化学基礎 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	助教	右田雅裕 ＜令和6年4月＞ 修士(工学)
		プレゼンテーション実習 プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習Ⅱ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	助教	木山真人 ＜令和6年4月＞ 博士(情報工学)
		論理回路演習 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	森大輔 ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		法社会学I
専	准教授	中浦 猛 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		医療画像認識
専	准教授	松田節郎 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		DS入門
専	准教授	本田圭市郎 ＜令和6年4月＞ 博士(応用経済学)
		計量経済学
専	准教授	岡島 寛 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ 制御工学Ⅱ
専	准教授	緒方 公一 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		デジタル信号処理Ⅱ
専	准教授	久我守弘 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		コンピュータシステム論
専	准教授	田中 茂 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		安全工学
専	講師	三浦 冲 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		DS基盤数学演習Ⅰ DS基盤数学演習Ⅱ DS入門 プレゼンテーション実習 物理化学基礎 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	助教	右田雅裕 ＜令和6年4月＞ 修士(工学)
		プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習Ⅱ DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究 ICTリテラシー DSリテラシー
専	助教	木山真人 ＜令和6年4月＞ 博士(情報工学)
		論理回路演習 DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	メンドンサ イスラエル ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	助教	田邊将之 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		電気回路演習Ⅰ
兼任	教授	松瀬憲司 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	教授	HANSENKELLYJEAN ＜令和6年4月＞ PhD(アメリカ)
		英語A-1
兼任	教授	ISEMONGERIAN ＜令和6年4月＞ MA(南アフリカ)
		英語A-1
兼任	教授	島谷浩 ＜令和6年4月＞ 文学修士 (アメリカ)
		英語A-2
兼任	教授	村里泰昭 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		英語A-2 英語B-2 英語e
兼任	教授	齋藤靖 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語Ⅰ-1
兼任	教授	折田充 ＜令和6年4月＞ PhD Swansea University, UK
		英語A-2 英語B-2
兼任	教授	平野順也 ＜令和6年4月＞ MA(学術修士) (アメリカ)
		英語A-2 英語B-2
兼任	教授	鹿嶋恵 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		日本語A-1 日本語A-2 日本語C-1 日本語C-2 日本語Ⅱ-2 日本語Ⅲ-2 日本語Ⅳ-2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	メンドンサ イスラエル ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		DSゼミナールⅠ DSゼミナールⅡ DSゼミナールⅢ DSゼミナールⅣ 卒業研究
専	助教	田邊将之 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		電気回路演習Ⅰ
兼任	教授	松瀬憲司 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		英語B-1 英語B-2 英語e
兼任	教授	HANSENKELLYJEAN ＜令和6年4月＞ PhD(アメリカ)
		英語A-1 英語e
兼任	教授	ISEMONGERIAN ＜令和6年4月＞ MA(南アフリカ)
		英語A-1
兼任	教授	島谷浩 ＜令和6年4月＞ 文学修士 (アメリカ)
		英語A-2 英語e
兼任	教授	村里泰昭 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語e
兼任	教授	齋藤靖 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		英語A-2 英語e 英語Ⅰ-1
兼任	教授	
兼任	教授	平野順也 ＜令和6年4月＞ MA(学術修士) (アメリカ)
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語e
兼任	教授	鹿嶋恵 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		日本語C-1 日本語C-2

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	BAUERTobiasAndreas ＜令和6年4月＞ MA(ドイツ)
		ドイツ語Ⅱ-1 ドイツ語Ⅱ-2
兼任	教授	MichelSAGAZ ＜令和6年4月＞ 博士(言語科学)
		フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 フランス語Ⅲ-2
兼任	教授	劉(杉谷)静華 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		中国語Ⅱ-1 中国語Ⅱ-2
兼任	教授	竹内裕 ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		ヘブライ語Ⅰ-1 ヘブライ語Ⅰ-2
兼任	教授	貝瀬秀裕 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		数学の世界 微分積分Ⅱ
兼任	教授	阿部健 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		数学の世界 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	教授	安仁屋勝 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		物理学入門
兼任	教授	高橋慶太郎 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門 物理学の世界
兼任	教授	市川聡夫 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	教授	松田真生 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		教養の化学
兼任	教授	速水真也 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		教養の化学
兼任	教授	嶋永元裕 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		生物の世界

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	BAUERTobiasAndreas ＜令和6年4月＞ MA(ドイツ)
		ドイツ語Ⅰ-1 ドイツ語Ⅰ-2 ドイツ語Ⅱ-1 ドイツ語Ⅱ-2
兼任	教授	MichelSAGAZ ＜令和6年4月＞ 博士(言語科学)
		フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 フランス語Ⅲ-2
兼任	教授	劉(杉谷)静華 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		中国語Ⅰ-1 中国語Ⅰ-2 中国語Ⅱ-1 中国語Ⅱ-2
兼任	教授	竹内裕 ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		ヘブライ語Ⅰ-1 ヘブライ語Ⅰ-2
兼任	教授	貝瀬秀裕 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		数学の世界
兼任	教授	阿部健 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		数学の世界 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	教授	安仁屋勝 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		物理学入門
兼任	教授	高橋慶太郎 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	教授	市川聡夫 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	教授	松田真生 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		教養の化学
兼任	教授	速水真也 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		教養の化学
兼任	教授	嶋永元裕 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		生物の世界

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	北野健 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		生物の世界
兼任	教授	檜垣匠 ＜令和6年4月＞ 博士(生命科学)
		生物の世界
兼任	教授	相田光宏 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		生物の世界 最先端の生命科学
兼任	教授	宮縁育夫 ＜令和6年4月＞ 理学博士
		持続可能な都市と地域づくり 地球環境科学の最前線
兼任	教授	鳥居修一 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		豊かさを持続させるものづくり Introduction to Science and Technology I
兼任	教授	外本和幸 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		豊かさを持続させるものづくり
兼任	教授	佐久川貴志 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		日々の生活に垣間見る情報と通信
兼任	教授	八幡英幸 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		倫理学入門
兼任	教授	田中朋弘 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		倫理学入門
兼任	教授	藤中隆久 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		こころの科学
兼任	教授	黨武彦 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		文学の諸相
兼任	教授	伊藤正彦 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		地域の世界史
兼任	教授	稲葉継陽 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		日本社会の歴史
兼任	教授	岡本友子 ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		法学の基礎 学際科目

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	北野健 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		生物の世界
兼任	教授	檜垣匠 ＜令和6年4月＞ 博士(生命科学)
		生物の世界 最先端の生命科学
兼任	教授	相田光宏 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		生物の世界 最先端の生命科学
兼任	教授	宮縁育夫 ＜令和6年4月＞ 理学博士
		持続可能な都市と地域づくり 地球環境科学の最前線
兼任	教授	鳥居修一 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		豊かさを持続させるものづくり Introduction to Science and Technology I
兼任	教授	外本和幸 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		豊かさを持続させるものづくり
兼任	教授	佐久川貴志 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		日々の生活に垣間見る情報と通信
兼任	教授	八幡英幸 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		倫理学入門
兼任	教授	田中朋弘 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		倫理学入門
兼任	教授	藤中隆久 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		こころの科学
兼任	教授	稲葉継陽 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		日本社会の歴史
兼任	教授	岡本友子 ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		学際科目

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	本間里見 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		地域づくりと科学技術
兼任	教授	大西康伸 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		地域づくりと科学技術
兼任	教授	尾上幸造 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		地域づくりと科学技術
兼任	教授	丸茂康男 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		ものづくりの科学と技術
兼任	教授	新留琢郎 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		ものづくりの科学と技術
兼任	教授	藤原和人 ＜令和6年4月＞ 学術博士
		ものづくりの科学と技術
兼任	教授	安藤新二 ＜令和6年4月＞ 学術博士
		ものづくりの科学と技術 開放科目
兼任	教授	押海裕之 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		病気の医科学
兼任	教授	山縣和也 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		病気の医科学
兼任	教授	日比泰造 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		臨床医学の最前線
兼任	教授	竹林実 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		臨床医学の最前線
兼任	教授	青石(長谷)恵子 ＜令和6年4月＞ 博士(看護学)
		心身の健康と看護
兼任	教授	大坪和明 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		現代医療と生命科学
兼任	教授	杉本幸彦 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		薬科学入門
兼任	教授	中島誠 ＜令和6年4月＞ 薬学博士
		薬科学入門

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	本間里見 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		地域づくりと科学技術
兼任	教授	大西康伸 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		地域づくりと科学技術
兼任	教授	丸茂康男 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		ものづくりの科学と技術
兼任	教授	新留琢郎 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		ものづくりの科学と技術
兼任	教授	藤原和人 ＜令和6年4月＞ 学術博士
		ものづくりの科学と技術
兼任	教授	安藤新二 ＜令和6年4月＞ 学術博士
		ものづくりの科学と技術 開放科目
兼任	教授	大坪和明 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		現代医療と生命科学
兼任	教授	杉本幸彦 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		薬科学入門
兼任	教授	中島誠 ＜令和6年4月＞ 薬学博士
		薬科学入門

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	三隅将吾 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		現代社会と薬学
兼任	教授	中山玄三 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		現代教育について考える
兼任	教授	古田弘子 ＜令和6年4月＞ 博士(心身障害学)
		現代教育について考える 開放科目
兼任	教授	宮瀬美津子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		現代教育について考える
兼任	教授	山城千秋 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		現代教育について考える
兼任	教授	寺本渉 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		心理学の探求
兼任	教授	松永拓己 ＜令和6年4月＞ 芸術学修士
		芸術への招待 キャリア科目
兼任	教授	中尾健一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		現代と文学
兼任	教授	新井英永 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		現代世界の形成と課題
兼任	教授	三沢純 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		最先端の法学
兼任	教授	外川健一 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		現代社会と経済 現代経済問題の諸相
兼任	教授	池田康弘 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		現代社会と経済
兼任	教授	大澤博明 ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		現代の政治
兼任	教授	QUITAINARMANDOTIBIGIN ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Introduction to Science and Technology I
		Introduction to Science and Technology II
		Socio-Cultural Studies
兼任	教授	Area Studies

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	三隅将吾 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		現代社会と薬学
兼任	教授	中山玄三 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		現代教育について考える
兼任	教授	寺本渉 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		心理学の探求
兼任	教授	松永拓己 ＜令和6年4月＞ 芸術学修士
		芸術への招待 キャリア科目
兼任	教授	中尾健一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		現代と文学
兼任	教授	新井英永 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		現代世界の形成と課題
兼任	教授	三沢純 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		最先端の法学 日本社会の歴史 現代世界の形成と課題
兼任	教授	外川健一 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		現代社会と経済 現代経済問題の諸相
兼任	教授	池田康弘 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		現代社会と経済
兼任	教授	大澤博明 ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		現代の政治
兼任	教授	QUITAINARMANDOTIBIGIN ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		Introduction to Science and Technology I
		Introduction to Science and Technology II
		Socio-Cultural Studies
兼任	教授	Academic Foundations
		Area Studies

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岸田光代 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		Introduction to Science and Technology I
兼任	教授	KOIKEURSULAHELENA ＜令和6年4月＞ PhD(スイス)
		Socio-Cultural Studies
		World History
		Area Studies Global Career Development
兼任	教授	園田隆則 ＜令和6年4月＞ Master of Law (U.S.A)
		Global Career Development
兼任	教授	藤瀬泰司 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		キャリア科目
兼任	教授	八幡彩子 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		キャリア科目
兼任	教授	金岡省吾 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		キャリア科目
兼任	教授	前田ひとみ ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		キャリア科目
兼任	教授	中西義孝 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		開放科目
兼任	教授	竹内裕希子 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		開放科目
兼任	教授	入江徹美 ＜令和6年4月＞ 薬学博士
		開放科目
兼任	教授	井福裕俊 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)
兼任	教授	大石康晴 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)
兼任	教授	坂下玲子 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岸田光代 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		Introduction to Science and Technology I
兼任	教授	KOIKEURSULAHELENA ＜令和6年4月＞ PhD(スイス)
		Socio-Cultural Studies
		World History
		Academic Foundations Area Studies Global Career Development
兼任	教授	園田隆則 ＜令和6年4月＞ Master of Law (U.S.A)
		Area Studies Global Career Development
兼任	教授	藤瀬泰司 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		キャリア科目
兼任	教授	八幡彩子 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		キャリア科目
兼任	教授	金岡省吾 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		キャリア科目
兼任	教授	前田ひとみ ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		キャリア科目
兼任	教授	中西義孝 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		開放科目
兼任	教授	竹内裕希子 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		地域づくりと科学技術 開放科目
兼任	教授	入江徹美 ＜令和6年4月＞ 薬学博士
		開放科目
兼任	教授	井福裕俊 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)
兼任	教授	大石康晴 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)
兼任	教授	坂下玲子 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中内 哲 ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		暮らしの中の憲法
兼任	教授	鷺見直哉 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		微分積分 I
兼任	教授	中川泰宏 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		微分積分 I
		微分積分 II
兼任	教授	金大弘 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		微分積分 I
		微分積分 II
兼任	教授	千吉良直紀 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		線形代数 I
		線形代数 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	鷺見直哉 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		線形代数 II
兼任	教授	金大弘 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		微分積分 I
		微分積分 II
兼任	教授	千吉良直紀 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		線形代数 I
		線形代数 II
兼任	教授	中野 裕司 ＜令和6年4月＞ 理学博士
		ICTリテラシー DSリテラシー
兼任	教授	杉谷 賢一 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		ICTリテラシー DSリテラシー
兼任	教授	慶田 勝彦 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		現代社会の解説
兼任	教授	坂元 昌樹 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		文学の諸相
兼任	教授	小畑 弘己 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		モノが語る歴史
兼任	教授	斉藤 寿仁 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		生物の世界
兼任	教授	渡邊 高志 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		現代社会と薬学
兼任	教授	副島 順子 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		最先端の生命科学
兼任	教授	林 一郎 ＜令和6年4月＞ 法学修士
		法学の基礎

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	横井裕之 ＜令和6年4月＞ 工学博士 物理学入門
兼任	准教授	吉本惣一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(工学) ものづくりの科学と技術
兼任	准教授	OSHIMAKAREN ＜令和6年4月＞ 修士(文学) 英語A-1
兼任	准教授	井原健 ＜令和6年4月＞ 教育学修士 英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	准教授	松岡浩史 ＜令和6年4月＞ 修士(イギリス文学) 英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2 現代と文学
兼任	准教授	西川里織 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy(スウェーデン) 英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	准教授	永尾悟 ＜令和6年4月＞ 修士(文学) 英語A-2 英語B-2
兼任	准教授	岡崎伸一 ＜令和6年4月＞ 修士(英語コミュニケーション) 英語A-2 英語B-1
兼任	准教授	松本(鶴)知子 ＜令和6年4月＞ 修士(文学) 英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	准教授	富村憲貴 ＜令和6年4月＞ 博士(文学) 英語A-2 英語B-2
兼任	准教授	山部順治 ＜令和6年4月＞ 博士(文学) 英語B-1 英語B-2

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	春田 直紀 ＜令和6年4月＞ 博士(文学) 現代世界の形成と課題
兼任	教授	紺屋 博昭 ＜令和6年4月＞ 博士(法学) 暮らしの中の憲法
兼任	准教授	横井裕之 ＜令和6年4月＞ 工学博士 物理学入門
兼任	准教授	吉本惣一郎 ＜令和6年4月＞ 博士(工学) ものづくりの科学と技術
兼任	准教授	OSHIMAKAREN ＜令和6年4月＞ 修士(文学) 英語A-1
兼任	准教授	井原健 ＜令和6年4月＞ 教育学修士 英語A-2 英語B-2 英語●
兼任	准教授	松岡浩史 ＜令和6年4月＞ 修士(イギリス文学) 英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語● 現代と文学
兼任	准教授	西川里織 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy(スウェーデン) 英語A-2 英語B-2
兼任	准教授	永尾悟 ＜令和6年4月＞ 修士(文学) 英語A-2 英語●
兼任	准教授	岡崎伸一 ＜令和6年4月＞ 修士(英語コミュニケーション) 英語A-2 英語B-1 英語●
兼任	准教授	松本(鶴)知子 ＜令和6年4月＞ 修士(文学) 英語A-2 英語B-1 英語B-2 英語●
兼任	准教授	富村憲貴 ＜令和6年4月＞ 博士(文学) 英語A-2 英語●
兼任	准教授	山部順治 ＜令和6年4月＞ 博士(文学) 英語B-1 英語B-2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	片山圭巳 ＜令和6年4月＞ 博士(国際広報メディア)
		英語B-1 英語B-2
兼任	准教授	吉里さち子 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		日本語A-2 日本語Ⅰ-2 日本語Ⅱ-2 日本語Ⅲ-1 日本語Ⅲ-2
兼任	准教授	マスデン真理子 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		日本語D-1 日本語D-2 日本語Ⅰ-1 日本語Ⅰ-2 日本語Ⅱ-1 日本語Ⅲ-2 日本語Ⅳ-2
兼任	准教授	畑亜弥子 ＜令和6年4月＞ 博士(フランス文学・文明)
		フランス語Ⅲ-1
兼任	准教授	岸木敬太 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	准教授	小澄大輔 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	准教授	中島陽一 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	准教授	村田貴広 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		教養の化学
兼任	准教授	伊豆田俊二 ＜令和6年4月＞ 薬学博士
		生物の世界
兼任	准教授	江頭恒 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		生物の世界
兼任	准教授	杉浦直人 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		生物の世界
兼任	准教授	中山(寺沢)由紀 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		生物の世界
兼任	准教授	武智克彰 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		生物の世界

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	片山圭巳 ＜令和6年4月＞ 博士(国際広報メディア)
		英語B-2 英語。
兼任	准教授	畑亜弥子 ＜令和6年4月＞ 博士(フランス文学・文明)
		フランス語Ⅰ-1 フランス語Ⅰ-2 フランス語Ⅲ-1 文学の諸相
兼任	准教授	岸木敬太 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	准教授	小澄大輔 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	准教授	中島陽一 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		物理学入門
兼任	准教授	村田貴広 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		教養の化学
兼任	准教授	江頭恒 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		生物の世界
兼任	准教授	杉浦直人 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		生物の世界
兼任	准教授	中山(寺沢)由紀 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		生物の世界
兼任	准教授	武智克彰 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		生物の世界

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	大辻正晴 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		思考と論理
兼任	准教授	川越明日香 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		現代心理行動学 学際科目
兼任	准教授	稲森安太己 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		芸術文化論
兼任	准教授	山田高誌 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		芸術文化論
兼任	准教授	跡上史郎 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		文学の諸相
兼任	准教授	久保田慎二 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		モノが語る歴史
兼任	准教授	中川順子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		地域の世界史
兼任	准教授	安高啓明 ＜令和6年4月＞ 博士（国際文化）
		日本社会の歴史
兼任	准教授	今村直樹 ＜令和6年4月＞ 博士（歴史学）
		日本社会の歴史
兼任	准教授	若色敦子 ＜令和6年4月＞ 法学修士
		法学の基礎
兼任	准教授	太田寿明 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）
		法学の基礎
兼任	准教授	山口（阿部）幸代 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）
		法学の基礎
兼任	准教授	及川高 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		最前線の社会文化研究
兼任	准教授	日高利泰 ＜令和6年4月＞ 修士（人間・環境学）
		最前線の社会文化研究

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	大辻正晴 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		思考と論理
兼任	准教授	川越明日香 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		現代心理行動学 学際科目
兼任	准教授	稲森安太己 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		芸術文化論
兼任	准教授	山田高誌 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		芸術文化論
兼任	准教授	跡上史郎 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		文学の諸相
兼任	准教授	久保田慎二 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		モノが語る歴史
兼任	准教授	今村直樹 ＜令和6年4月＞ 博士（歴史学）
		日本社会の歴史
兼任	准教授	若色敦子 ＜令和6年4月＞ 法学修士
		法学の基礎
兼任	准教授	山口（阿部）幸代 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）
		法学の基礎
兼任	准教授	及川高 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		最前線の社会文化研究
兼任	准教授	日高利泰 ＜令和6年4月＞ 修士（人間・環境学）
		最前線の社会文化研究

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	吉武由彩 ＜令和6年4月＞ 博士(人間環境学)
		現代社会の解読
兼任	准教授	下田健太郎 ＜令和6年4月＞ 博士(史学)
		現代社会の解読
兼任	准教授	山本耕三 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		自然と人間の地理学
兼任	准教授	米島万有子 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		自然と人間の地理学
兼任	准教授	初原幸二 ＜令和6年4月＞ 博士(情報科学)
		数学と文化
兼任	准教授	小塚敏之 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		物理学の世界
兼任	准教授	荒木正健 ＜令和6年4月＞ 博士(生命科学)
		最先端の生命科学
兼任	准教授	小島知子 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		地球環境科学の最前線
兼任	准教授	横瀬久芳 ＜令和6年4月＞ 学術博士
		地球環境科学の最前線
兼任	准教授	吉武隆一 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		地域づくりと科学技術
兼任	准教授	佐々木満 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		ものづくりの科学と技術
兼任	准教授	宮内肇 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		暮らしと情報・通信技術
兼任	准教授	入谷仁士 ＜令和6年4月＞ 修士(体育学)
		健康の科学
兼任	准教授	長谷真 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		健康の科学
兼任	准教授	古川昇 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		現代社会と医学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	吉武由彩 ＜令和6年4月＞ 博士(人間環境学)
		現代社会の解読
兼任	准教授	下田健太郎 ＜令和6年4月＞ 博士(史学)
		現代社会の解読
兼任	准教授	山本耕三 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		自然と人間の地理学
兼任	准教授	米島万有子 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		自然と人間の地理学
兼任	准教授	初原幸二 ＜令和6年4月＞ 博士(情報科学)
		数学と文化
兼任	准教授	小塚敏之 ＜令和6年4月＞ 工学博士
		物理学の世界
兼任	准教授	小島知子 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		地球環境科学の最前線
兼任	准教授	横瀬久芳 ＜令和6年4月＞ 学術博士
		地球環境科学の最前線
兼任	准教授	吉武隆一 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		地域づくりと科学技術
兼任	准教授	佐々木満 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		ものづくりの科学と技術

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	城野博史 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		現代社会と薬学
兼任	准教授	北川雅浩 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		現代教育について考える
兼任	准教授	中迫(北後)由実 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		現代教育について考える
兼任	准教授	藤井美保 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		現代教育について考える
兼任	准教授	増田仁 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		現代教育について考える
兼任	准教授	吉村昇 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		現代教育について考える
兼任	准教授	安村明 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		心理学の探求
兼任	准教授	赤木恭子 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		芸術への招待
兼任	准教授	山下真里 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		現代と言語
兼任	准教授	仁野平智明 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		現代と文学
兼任	准教授	日高愛子 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		現代と文学
兼任	准教授	鈴木啓孝 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		現代世界の形成と課題
兼任	准教授	大野正久 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		現代社会と経済
兼任	准教授	阿部悠貴 ＜令和6年4月＞ 博士(政治学)
		現代の政治 開放科目

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	城野博史 ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		現代社会と薬学
兼任	准教授	北川雅浩 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		現代教育について考える
兼任	准教授	中迫(北後)由実 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		現代教育について考える
兼任	准教授	増田仁 ＜令和6年4月＞ 博士(教育学)
		現代教育について考える
兼任	准教授	安村明 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		心理学の探求
兼任	准教授	山下真里 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		現代と言語
兼任	准教授	仁野平智明 ＜令和6年4月＞ 修士(教育学)
		現代と文学
兼任	准教授	日高愛子 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		現代と文学
兼任	准教授	鈴木啓孝 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		現代世界の形成と課題
兼任	准教授	大野正久 ＜令和6年4月＞ 博士(経済学)
		現代社会と経済
兼任	准教授	阿部悠貴 ＜令和6年4月＞ 博士(政治学)
		現代の政治 開放科目

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	菅澤貴之 ＜令和6年4月＞ 修士(比較社会文化)
		学際科目 キャリア科目
兼任	准教授	RICKARDJOSHUAHOUSTON ＜令和6年4月＞ Ph.D. Anthropology (英国)
		Socio-Cultural Studies Area Studies
兼任	准教授	高木康衣 ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		キャリア科目
兼任	准教授	坂本将基 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
兼任	准教授	末永祐介 ＜令和6年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
兼任	准教授	北別府悠 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		微分積分Ⅰ
兼任	准教授	安藤直也 ＜令和6年4月＞ 博士(数理科学)
		微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ
兼任	准教授	杉崎文亮 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		微分積分Ⅱ
兼任	准教授	川節和哉 ＜令和6年4月＞ 博士(数理科学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	准教授	藤田直樹 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	菅澤貴之 ＜令和6年4月＞ 修士(比較社会文化)
		学際科目 キャリア科目
兼任	准教授	高木康衣 ＜令和6年4月＞ 修士(法学)
		キャリア科目
兼任	准教授	坂本将基 ＜令和6年4月＞ 博士(学術)
		体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
兼任	准教授	末永祐介 ＜令和6年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		体育・スポーツ科学(a) 体育・スポーツ科学(b)
兼任	准教授	北別府悠 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ
兼任	准教授	安藤直也 ＜令和6年4月＞ 博士(数理科学)
		微分積分Ⅱ
兼任	准教授	杉崎文亮 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		微分積分Ⅰ
兼任	准教授	川節和哉 ＜令和6年4月＞ 博士(数理科学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	准教授	藤田直樹 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		文系のための数学入門
兼任	准教授	益 敏郎 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		ドイツ語Ⅱ-1 ドイツ語Ⅱ-2

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	但馬達哉 ＜令和6年4月＞ 理学修士
		生物の世界
兼任	助教	可児智美 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		地球環境科学の最前線
兼任	助教	金森弓枝 ＜令和6年4月＞ 博士(保健学)
		心身の健康と看護
兼任	助教	谷川千春 ＜令和6年4月＞ 修士(看護学)
		心身の健康と看護
兼任	助教	辻田直子 ＜令和6年4月＞ 修士(保健学)
		医療における理工学
兼任	助教	松尾祐一 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		現代の医学検査
兼任	助教	梶原隆太郎 ＜令和6年4月＞ 博士(保健学)
		現代医療と生命科学
兼任	助教	HARIPRASADDEVKOTA ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		Socio-Cultural Studies
兼任	教授	茂木俊伸 ＜令和6年4月＞ 博士(言語学)
		現代と言語

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	但馬達哉 ＜令和6年4月＞ 理学修士
		生物の世界
兼任	助教	可児智美 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		地球環境科学の最前線
兼任	助教	辻田直子 ＜令和6年4月＞ 修士(保健学)
		医療における理工学
兼任	助教	松尾祐一 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		現代の医学検査
兼任	助教	梶原隆太郎 ＜令和6年4月＞ 博士(保健学)
		現代医療と生命科学
兼任	助教	HARIPRASADDEVKOTA ＜令和6年4月＞ 博士(薬学)
		Socio-Cultural Studies
兼任	教授	茂木俊伸 ＜令和6年4月＞ 博士(言語学)
		現代と言語
兼任	助教	山野 ケン陽次郎 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		モノが語る歴史
兼任	助教	吉備 公美子 ＜令和6年4月＞ 博士(生命科学)
		最先端の生命科学
兼任	助教	山本 麻起子 ＜令和6年4月＞ 博士(看護学)
		心身の健康と看護
兼任	助教	那須 信 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		心身の健康と看護
兼任	特定 事業 教員	入江 英也 ＜令和6年4月＞
		開放科目55

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池田志郎 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	講師	LaskowskiTerry ＜令和6年4月＞ 博士(応用言語学)
		英語A-1 英語 I -2
兼任	講師	ギルバートリチャード ＜令和6年4月＞ PhD(アメリカ)
		英語A-1
兼任	講師	アームストロングレイモンドクレグ ＜令和6年4月＞ 修士(応用言語学)
		英語A-1
兼任	講師	ノーマンジョシュライアン ＜令和6年4月＞ 博士(公共政策学)
		英語A-1
兼任	講師	トーマストット ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		英語A-1
兼任	講師	ローゼンアランデイヴィッド ＜令和6年4月＞ PhD(アメリカ)
		英語A-1
兼任	講師	隈元貞広 ＜令和6年4月＞ 博士(比較社会文化)
		英語A-1 英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	講師	田口誠一 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		英語A-2 英語B-1
兼任	講師	登田龍彦 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		英語A-2 英語B-1 英語B-2
兼任	講師	島村恭輔 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		英語A-2 英語B-2
兼任	講師	齊木愛子 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		英語A-2 英語B-1
兼任	講師	鈴木蓮一 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		英語B-1
兼任	講師	角田俊治 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		英語B-2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	池田志郎 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		英語A-2 英語B-1
兼任	講師	LaskowskiTerry ＜令和6年4月＞ 博士(応用言語学)
		英語A-1 英語 I -2
兼任	講師	ギルバートリチャード ＜令和6年4月＞ PhD(アメリカ)
		英語A-1
兼任	講師	アームストロングレイモンドクレグ ＜令和6年4月＞ 修士(応用言語学)
		英語A-1
兼任	講師	ノーマンジョシュライアン ＜令和6年4月＞ 博士(公共政策学)
		英語A-1
兼任	講師	トーマストット ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		英語A-1
兼任	講師	ローゼンアランデイヴィッド ＜令和6年4月＞ PhD(アメリカ)
		英語A-1
兼任	講師	隈元貞広 ＜令和6年4月＞ 博士(比較社会文化)
		英語B-1 英語B-2
兼任	講師	田口誠一 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		英語A-2 英語B-1
兼任	講師	登田龍彦 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		英語A-2 英語B-2
兼任	講師	島村恭輔 ＜令和6年4月＞ 博士(文学)
		英語A-2 英語B-2
兼任	講師	齊木愛子 ＜令和6年4月＞ 修士(文学)
		英語A-2 英語B-1
兼任	講師	鈴木蓮一 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		英語A-2
兼任	講師	角田俊治 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		英語B-2

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村直美 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）
		日本語B-1 日本語B-2 日本語IV-1 日本語IV-2
		岩佐銘江 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語 I-1 ドイツ語 I-2
兼任	講師	荻野蔵平 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語 I-1 ドイツ語 I-2
		葉陵陵 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）
		中国語 I-1 中国語 I-2
兼任	講師	辛教燦 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		コリア語 I-1 コリア語 I-2
		太田丈太郎 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		ロシア語 I-1 ロシア語 I-2
兼任	講師	デレオンフロレスルースデルカルメ ＜令和6年4月＞ 学士（法学）
		スペイン語 I-1 スペイン語 I-2 スペイン語 II-1 スペイン語 II-2
		田上恭子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		イタリア語 I-1 イタリア語 I-2
兼任	講師	国越道貴 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		ラテン語 I-1 ラテン語 I-2
		中村謙太 ＜令和6年4月＞ 博士（数理学）
		数学の世界 微分積分 I 微分積分 II
兼任	講師	岡部勉 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		心と世界
		山田雅彦 ＜令和6年4月＞ 文学博士
		地域の世界史
兼任	講師	金子秀聡 ＜令和6年4月＞ 経済学学士
		現代政治の諸相
		村坂亮 ＜令和6年4月＞ 学士（経済）
		学際科目

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村直美 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）
		日本語B-1 日本語B-2 日本語IV-1 日本語IV-2
		岩佐銘江 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		ドイツ語 I-1 ドイツ語 I-2
兼任	講師	辛教燦 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		コリア語 I-1 コリア語 I-2
		太田丈太郎 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		ロシア語 I-1 ロシア語 I-2
兼任	講師	デレオンフロレスルースデルカルメ ＜令和6年4月＞ 学士（法学）
		スペイン語 I-1 スペイン語 I-2 スペイン語 II-1 スペイン語 II-2
		田上恭子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		イタリア語 I-1 イタリア語 I-2
兼任	講師	国越道貴 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		ラテン語 I-1 ラテン語 I-2
		岡部勉 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		心と世界
兼任	講師	金子秀聡 ＜令和6年4月＞ 経済学学士
		現代政治の諸相
		村坂亮 ＜令和6年4月＞ 学士（経済）
		学際科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中嶋弘二 ＜令和6年4月＞ 教育学士
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)
兼任	講師	森口千弘 ＜令和6年4月＞ 博士(法学)
		暮らしの中の憲法
兼任	講師	佐川侑司 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		微分積分Ⅰ
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	坂西文俊 ＜令和6年4月＞ 修士(理学)
		微分積分Ⅰ
		微分積分Ⅱ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	春木秀紀 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		微分積分Ⅰ
		微分積分Ⅱ
兼任	講師	佐野友二 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		線形代数Ⅰ
兼任	講師	西山雄太 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ
兼任	講師	岩下卓司 ＜令和6年4月＞ 工学修士 経済学修士
		知的財産権

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中嶋弘二 ＜令和6年4月＞ 教育学士
		体育・スポーツ科学(a)
		体育・スポーツ科学(b)
兼任	講師	森口千弘 ＜令和6年4月＞ 博士(法学)
		暮らしの中の憲法
兼任	講師	坂西文俊 ＜令和6年4月＞ 修士(理学)
		線形代数Ⅰ
		線形代数Ⅱ
兼任	講師	春木秀紀 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		微分積分Ⅰ
		微分積分Ⅱ
兼任	講師	佐野友二 ＜令和6年4月＞ 博士(理学)
		線形代数Ⅰ
兼任	講師	岩下卓司 ＜令和6年4月＞ 工学修士 経済学修士
		知的財産権
兼任	講師	折田 充 ＜令和6年4月＞ PhD Swansea University, UK
		英語A-2
兼任	講師	岡 智典 ＜令和6年4月＞ 修士(理学)
		ICTリテラシー DSリテラシー
兼任	講師	甲斐 隆志 ＜令和6年4月＞
		ICTリテラシー DSリテラシー
兼任	講師	赤木 昌子 ＜令和6年4月＞
		日本語Ⅲ-1 日本語Ⅲ-2 日本語Ⅳ-1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	渡邊 元生 ＜令和6年4月＞
					学際科目
			兼任	講師	高口 義幸 ＜令和6年4月＞ 経済学士
					キャリア科目
			兼任	講師	阿部 誠 ＜令和6年4月＞ 博士(数理学)
					線形代数Ⅰ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・教育上の効果を高めるため、武蔵 泰雄 教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、尼崎 太樹 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、魚住 弘久 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉岡 英美 教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、野口 祐二 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、常田 明夫 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、光木 文秋 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、久保田 真一郎 准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、佐竹 翔平 准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、岩佐 学 准教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、右田 雅裕 助教の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、松瀬 憲司 教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、HANSEN KELLY JEAN 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、島谷 浩 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、村里 泰昭 教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、齋藤 靖 教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、折田 充 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、平野 順也 教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、鹿嶋 恵 教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、BAUER Tobias Andreas 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、劉 (杉谷) 静華 教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、貝瀬 秀裕 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、高橋 慶太郎 教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、榎垣 匠 教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、黨 武彦 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、伊藤 正彦 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、岡本 友子 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、矢原 隆行 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、中川 輝彦 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、鹿嶋 洋 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、宮崎 藍 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、尾上 幸造 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、押海 裕之 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、山縣 和也 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、日比 泰造 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、竹林 実 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、青石 (長谷) 恵子 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、古田 弘子 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、宮瀬 美津子 教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、山城 千秋 教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、三沢 純 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、QUITAIN ARMANDO TIBIGIN 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、KOIKE URSULA HELENA 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、園田 隆則 教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、竹内 裕希子 教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、鷲見 直就 教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、中川 泰宏 教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 中野 裕司 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 杉谷 賢一 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 慶田 勝彦 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 坂元 昌樹 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 小畑 弘己 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 斉藤 寿仁 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 渡邊 高志 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 副島 顕子 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 林 一郎 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 澤 進一郎 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 三沢 正史 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 多田 光宏 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 井川 和宣 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 宇佐川 毅 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 尾池 雄一 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 三浦 恭子 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 近藤 英治 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 吉田 素文 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 水牧 仁一朗 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 磯部 博志 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 児玉 望 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 後藤 知己 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 喜久山 悟 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 春田 直紀 教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 紺屋 博昭 教授就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、井原 健 准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、松岡 浩史 准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、西川 里織 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、永尾 悟 准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、岡崎 伸一 准教授の担当科目を追加。
- ・教育上の効果を高めるため、松本 (鶴) 知子 准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、富村 憲貴 准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、片山 圭巳 准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉里 さち子 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、マステン 眞理子 准教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、畑 亜弥子 准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、伊豆田 俊二 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、中川 順子 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、安高 啓明 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、太田 寿明 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、荒木 正健 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、宮内 肇 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、入谷 仁士 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、長谷 真 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、古川 昇 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、藤井 美保 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、吉村 昇 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、赤木 恭子 准教授の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、RICKARD JOSHUA HOUSTON 准教授の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、北別府 悠 准教授の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、安藤 直也 准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、杉崎 文亮 准教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、藤田 直樹 准教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 益 敏郎 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 竹中 伸夫 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 苫野 一徳 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 波多江 俊介 准教授就任。

- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 藤原 志帆 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 本吉 大介 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 山本 豊 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 小林 晃 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 中田 晴彦 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 鈴木 寛之 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 大坪 志子 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 池川 佳宏 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 伊藤 弘了 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 中村 五月 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 横塚 志乃 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 勝呂 剛志 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 佐川 祥予 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 栗山 恵子 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 三瓶 弘喜 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 秋月 百合 准教授就任。
- ・教育上の効果を高めるため、SIMS LANDER BRYANT 講師の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、王 勁草 講師の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 土肥 勲嗣 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、崔 相振 助教の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、金森 弓枝 助教の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、谷川 千春 助教の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 山野 ケン陽次郎 助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 吉信 公美子 助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 山本 麻起子 助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 那須 信 助教就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼担として令和6年4月 入江 英也 特定事業教員就任。
- ・カリキュラム編成の調整により、池田 志郎 講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、隈元 貞広 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、登田 龍彦 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、鈴木 蓮一 講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、狹野 藏平 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、葉 陵陵 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、中村 謙太 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、山田 雅彦 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、佐川 侑司 講師の担当科目を削除。
- ・カリキュラム編成の調整により、坂西 文俊 講師の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、西山 雄太 講師の担当科目を削除。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 折田 充 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 岡 智典 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 甲斐 隆志 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 赤木 昌子 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 ジェンキンソン ディヴィッド 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 ミナミ ウォール フィオナ 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 高木 スワンナ 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 モーテンソン ロバート 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 カービン ウィリアム 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 馬渡 美幸 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 高津 亜史 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 濱田 比呂美 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 池田 裕子 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 竹下 裕俊 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 萱嶋 崇 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 大庭 理恵子 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 古賀 美千留 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 山田 里香 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 キム アリン 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 金 垠周 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 與縄 友子 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 小坂 玲子 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 片山 きよみ 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 宮本 茂生 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 道本 ゆう子 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 井崎 美代 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 水月 晃 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 柿原 一貴 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 横田 浩 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 金原 宏明 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 藤井 太郎 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 鈴木 桂樹 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 渡邊 元生 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 高口 義幸 講師就任。
- ・教育上の効果を高めるため、兼任として令和6年4月 阿部 誠 講師就任。
- ・昇任により、令和6年4月から合田(山田)准教授を教授に変更。
- ・特定事業教員の称号付与のため、令和6年4月から三浦 沖 講師として就任。
- ・教育上の効果を高めるため、三浦 沖 講師の担当科目を追加。
- ・カリキュラム編成の調整により、千葉 周也 教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、喜多 敏博 教授の担当科目を変更。
- ・教育上の効果を高めるため、城本 啓介 教授の担当科目を変更。
- ・カリキュラム編成の調整により、戸田 真志 教授の担当科目を変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**。
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) - ② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
24	19	0	4	47	0	25	17	1	4	47	0
(24)	(19)	(0)	(4)	(47)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
25	17	1	4	47	0	25	17	1	4	47	0
[1]	[Δ2]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ2]	[1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{47}{47} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{47} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）						後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{60} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1													
2													
3													
4													
合計					後任補充状況の集計								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
0	人	必修	24	科目	必修	18	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	45	科目	選択	31	科目	選択	6	科目	選択	8	科目
		自由	1	科目	自由	0	科目	自由	1	科目	自由	0	科目
		計	70	科目	計	49	科目	計	13	科目	計	8	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

定年退職教員に係る担当科目については、他の専任教員及び兼任教員を配置することにより、教育の質を確保している。
 学生への周知方法については、シラバスへの掲載や新入生ガイダンス時に授業時間割を配布すること等により、十分に周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<情報融合学環>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 情報融合学環教授会（FD委員長等、学生教育に係る委員長を配置し、FDに係ることも審議）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ＜令和6年度＞ 4月17日第1回（29名中22名出席）、5月15日第2回（29名中29名出席）</p> <p>c 委員会の審議事項等 学生、教育等に関する事項（教育の内部質保証、FD活動、教学IR分析等）</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスのチェック ・教員相互の授業参観（専門科目の講義を動画収録、教員相互で確認） ・教育研究内容について学生・教員参加のランチセミナーの実施 ・米国政府と連携した英語教授法の向上取り組み、ワークショップの実施 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスのチェック ・教員相互の授業参観（専門科目の講義を動画収録、教員相互で確認） ・教育研究内容について学生・教員参加のランチセミナーの実施 ・米国政府と連携した英語教授法の向上取り組み、ワークショップの実施 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスのチェック：毎学期開講前の履修指導オリエンテーションに備え、開講科目のシラバスをチェックする。 ・教員相互の授業参観：専門科目の講義を毎回動画収録し、教員相互で確認、意見交換する。 ・教育研究ランチセミナー：当該教員の教育研究内容について、毎週水曜日の昼休みに各教員が発表を行う。 学生から意見収集を行い、その内容については、全専任教員が確認できる。 ・米国政府と連携した英語教授法の向上取り組み、ワークショップの実施： 令和6年5月20日から31日まで、米国政府派遣の米国の大学教授が来学し、専門教育で英語を教授する方法について、専任教員に対して指導を行う。さらに、5月29日から31日にはEnglish medium instruction ワークショップを開催する。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 令和6年度・・・上記の取り組みを行い、次年度の授業改善を行う。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施有。原則として、最終回を含む1ヶ月以内の授業時に実施している。 <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果については、Web上の授業改善アンケートシステムで公開しており、教員、学生ともに確認できるようになっている。また、各教員は学生が回答したアンケート結果に対するコメントを公表しており、フィードバックを行っている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

なお、本学では、各評価領域において所掌会議が毎年度自己点検・評価を実施し、その結果を大学評価会議に報告するとともに、自己点検・評価の結果、改善が必要な場合は、改善計画を定め、改善を実施している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和7年度に自己評価を行い、令和8年度中に公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和3年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受け、「大学評価基準を満たしている」と判定された。次回は、令和10年度に評価を受ける予定である。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。